

次期徳島県地域公共交通計画の策定について

令和8年6月24日

徳島県 生活環境部 交通政策課

- 公共交通における利用者の減少や担い手不足が深刻化する中、「徳島県地域公共交通計画」は、今年度、計画期間満了に伴う改定期を迎える
- 持続可能な公共交通の維持・確保に向け、新たな制度や技術の動向も踏まえ、「次世代地域公共交通ビジョン」と統合した、次代を見据えた計画へとアップデートを図る

《次世代地域公共交通ビジョン》

計 画 期 間 : 令和元年度(2019年度)から概ね10年程度

位 置 付 け : これまでの取組や市町村が作成した「地域公共交通計画」を活かしつつ、地域公共交通に係る計画のよりどころとなる基本的な方向性を定めるもの

他の計画との連携: 各地域において開催されている「地域公共交通会議」において、路線の再編を行う場合や地域の都市計画において公共交通ネットワークを検討する場合など、県民や旅行者などの移動ニーズに応じた公共交通の維持・充実が図られるよう、まちづくりの視点や高齢者の移動支援など他の分野との連携を図りながら、総合的かつ計画的に講ずるべき方針を定めるもの

《徳島県地域公共交通計画》

計 画 期 間 : 令和4年度～令和8年度の5年間

計 画 策 定 の 趣 旨 : コロナ禍で利用者が大きく落ち込んだ公共交通の再構築を加速させ、次世代地域公共交通ビジョンで示されている「持続可能な公共交通ネットワークの構築」を目的として、特に、県民にとって一番身近な移動手段である「幹線系統バス」に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響や今後の見通し、公共交通に関する法律改正や技術革新等の最新動向も踏まえながら策定するもの

次期計画策定スケジュール案

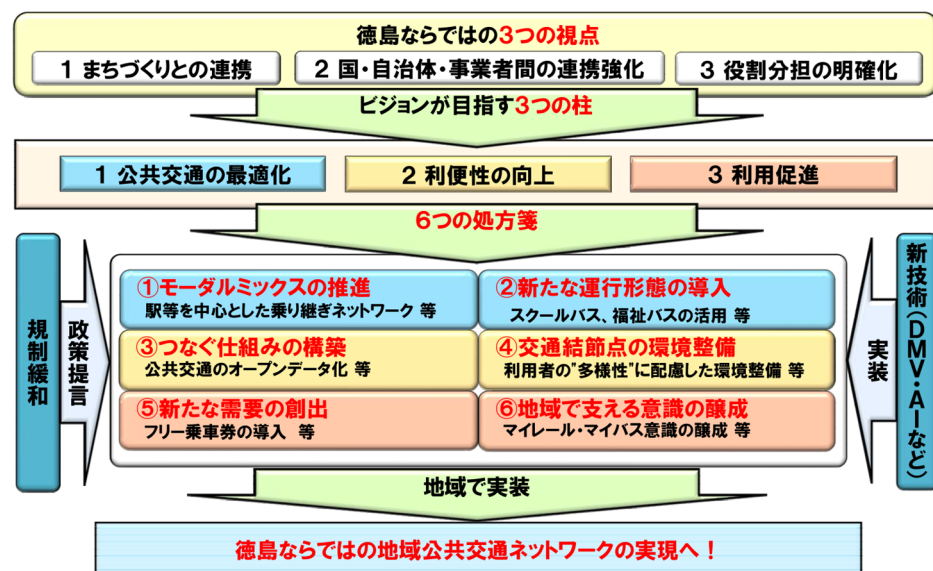
2

	令和8年度									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通協議会 ビジョン推進委員会	6/24 ★第1回協議会 (次期計画策定について)				★第2回協議会 (計画素案について)			★第3回協議会 (計画最終案について)		★地域公共交通計画の 公表
調査・検討内容	県民ニーズ調査や 地域内公共交通に関する 情報整理・分析			素案 作成	計画案作成		計画最終案作成			
		●アンケート ・利用者アンケート ・非利用者アンケート ・観光客アンケート ・自治体アンケート ・事業者アンケート		●交通事業者 ヒアリング			●パブコメ			
		●移動実態把握		●OD調査						
分科会				★地域別分科会 (3地域×1回)						

- 計画策定時からコロナ禍を経た生活様式の変化、働き方改革(2024年問題)、技術の進展、法制度の変更等、公共交通を取り巻く環境は大きく変化している
- 県民の移動ニーズの多様化や、高齢化に伴う移動困難者の増加を背景として、通勤・通学・通院・買物など様々な目的に対応できるよう、多様かつ幅広い交通手段を組み合わせた持続可能な「地域公共交通ネットワーク」の確保が求められている
- 次世代地域公共交通ビジョンにおいて示されてきた地域公共交通ビジョンの3つの柱と6つの処方箋を基本に最新の動向を反映した計画を作成する

現行計画における本県公共交通のビジョン

これまで取り組んできたビジョンの3つの柱と6つの処方箋の方向性を踏襲



現行計画のフォローアップ

現行計画の進捗を確認し、変更・改善が必要なポイントを整理する

公共交通を取り巻く環境の変化

現行計画策定時から変化した社会情勢や地域の状況について整理する

移動実態の把握

県民・来訪者の県内での移動需要や移動手段に関する情報を整理する

アンケート調査

県民や事業者、自治体に対してアンケート調査を行い、現行計画策定後の変化や新たな意向を把握する

次期徳島県地域公共交通計画

1. 次期徳島県地域公共交通計画の構成(骨子)について
2. 各種アンケート調査の内容について
3. 移動実態の把握について

- 現行の地域公共交通計画の構成をベースに、ビジョンの内容や新たな調査結果等を反映させる

第1章 はじめに

- (1) 計画策定の趣旨
- (2) これまでの取組状況
- (3) 計画の区域・期間
- (4) 計画の位置づけ

第2章 地域・公共交通の現状診断

- (1) 人口
- (2) 地域特性
- (3) 交通ネットワーク
- (4) 交通サービス利用状況
- (5) 潜在需要
- (6) 公共交通に係る財政の状況
- (7) 現状診断

第3章 アンケート結果

- (1) 利用者等へのアンケート結果・分析
- (2) 交通事業者アンケート等結果・分析

第4章 上位・関連計画との連携

- (1) 県総合計画など関連計画
- (2) まちづくりとの連携
- (3) 観光振興施策との連携
- (4) 市町村の公共交通計画

第5章 公共交通に関する課題

第6章 計画の基本方針と目標

- (1) 計画の「基本方針」
- (2) 公共交通ネットワークの「将来像」
- (3) 計画の目標

第7章 目標達成のための事業

※ライドシェア、共同化・協業化、自動運転など、新たな制度・技術に関する取組を掲載予定

第8章 達成状況の評価

- (1) 評価指標の設定

第10章 計画の推進

- (1) 関係機関の連携と役割分担
- (2) PDCAサイクルによる事業展開

① 公共交通利用者アンケート

調査方法：調査会社のWebモニター・県ホームページにおいてWebアンケートを周知

実施時期：令和8年7月

目標サンプル数：300サンプル

調査目的：日常的に公共交通を利用している方から、日ごろの利用状況や公共交通に対する要望を聴取し、幹線バス系統路線の再編方向性や計画に位置付ける事業の検討材料として活用する

② 公共交通非利用者アンケート

調査方法：調査会社のWebモニター・県ホームページにおいてWebアンケートを周知

実施時期：令和8年7月

目標サンプル数：300サンプル

調査目的：普段は公共交通を利用しない方からその理由と今後の利用意向を調査し、潜在需要を把握する
利用者アンケートと比較することで傾向を把握する

大項目	No.	質問内容	利用者	非利用者
あなたご自身について	1	居住地	○	○
	2	職業	○	○
	3	日常の移動手段	○	○
	4	自動車免許・自動車の保有状況	○	○
	5	最寄り駅	○	○
	6	最寄り駅への自宅からの徒歩時間	○	○
	7	最寄り駅まで行く場合の交通手段	○	○
	8	最寄りバス停	○	○
	9	最寄りバス停への自宅からの徒歩時間	○	○
	10	最寄りバス停まで行く場合の交通手段	○	○
公共交通の利用状況について	11	鉄道・バスの利用頻度	○	×
	13	公共交通を利用しない理由	×	○
	14	公共交通を利用しても良いと思う条件	×	○
	15	自家用車で移動ができなくなった場合、主にどのような交通手段を利用したいか	×	○
	16	公共交通を利用する際の主な移動目的	○	×
	17	路線バスの主な決済方法	○	×
	18	乗り継ぎ状況	○	×
路線維持の方向性について	19	路線バスの赤字分を補助金(税金)で支えていることを知っているか	○	○
	20	今後、公共交通サービスを維持するうえでの税負担と路線維持とのバランスをどう考えるか	○	○
	21	路線を維持するためであれば今よりも公共交通を利用しても良いと思うか	○	○
路線バスを利用する上で重視するサービス	22	県内でよく利用するバスのサービスに対して重視するサービス(運行ルート・運行本数・始発終発時刻・所要時間・運賃など)	○	○
バスを利用する上で、望ましい水準・条件	23	乗り継ぎを許容するための条件・水準(到着時間・乗り継ぎ待ち時間・運賃など)	○	×
公共交通に関する取組について	24	県内の公共交通ネットワークを維持していくために特に実施すべきと考える施策(乗り継ぎのしやすさ、様々な移動手段の充実、待合環境や情報提供の充実など)	○	○

※Webモニター調査のため、年齢・性別等の基本的な属性についてはデータを入手可能

③ 観光客アンケート

調査方法：調査会社のWebモニター

実施時期：令和8年7月

目標サンプル数：300サンプル

調査目的：徳島県内に観光目的で訪れた方のうち、公共交通利用者の実体験に基づく課題・観光客の移動目的を把握することで、利用拡大に向けたサービス改善策の立案に役立てる

大項目	No.	質問内容
あなたご自身について	1	職業
	2	自動車免許・自動車の保有状況
同行者・滞在日数について	3	来訪人数
	4	来訪グループ
	5	滞在日数
	6	これまでの来訪回数
来訪目的について	7	主な来訪先
	8	具体的な目的地
	9	来訪目的
公共交通の利用状況・感想	10	徳島県に訪れるまでに利用した主な交通機関
	11	上記移動手段の満足度
	12	徳島県での観光の基点
	13	基点から観光目的地までの主な移動手段
	14	徳島県内で利用した主な公共交通機関
	15	上記移動手段の満足度
	16	徳島県内の移動手段に関する情報の入手先
観光地での公共交通利用について	17	観光地の公共交通における重要度
	18	観光地で移動手段を選択する際に最も重視する点

※Webモニター調査のため、年齢・性別・居住地(都道府県)等の基本的な属性についてはデータを入手可能

④ 事業者アンケート

調査方法：メールでWebアンケートを配信

実施時期：2026年7月

調査目的：バス事業者を対象に実施予定の事業者ヒアリングを円滑に進めるための事前調査
アンケート形式で事前に情報提供をいただくことでヒアリングの時間短縮と内容の充実を図る

調査内容：

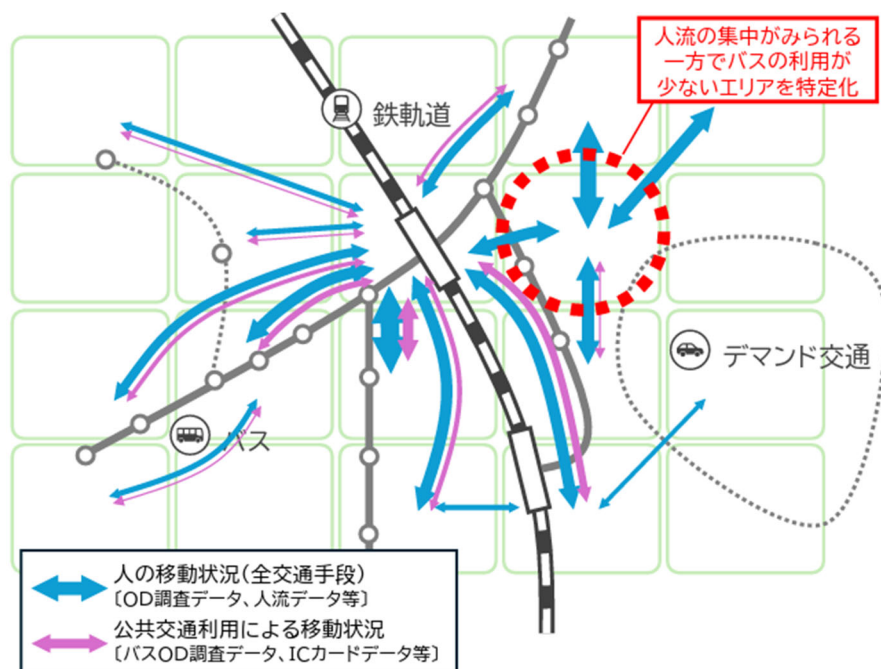
- 乗務員数(年齢構成)
- 保有している車両台数
- 積極的に行っている取組内容・具体的な内容
- 事業者が抱えている課題や問題点のうち特に重要だと考えているもの
- 現行の地域公共交通計画の方向性(モーダルミックスの推進・新たな運行形態の導入・つなぐ仕組みの構築・交通結節点の環境整備・新たな需要の創出・地域で支える意識の醸成)について継続していくべきか、変更が必要か
- 行政に期待すること
- 事業者として担うべきと感じている役割について

- 現行計画策定時以降の県民の移動需要の変化等の状況も次期計画へ反映するため、各種調査により県民の移動実態を把握する予定

調査イメージ(一例)

OD調査

路線バスのODやICカードのデータから県内の移動実態(どこからどこへ移動しているのか)を把握



出典:国土交通省「地域公共交通計画の「アップデートガイダンス Ver1.0」手順書」

徳島阿波おどり空港からの移動需要の把握

県外来訪者の二次交通の利用状況・移動先の状況を調査



県民の潜在的な移動需要の把握

公共交通に限らず県民の移動需要を広く把握する

まちづくりの方向性の確認

市町村が策定している立地適正化計画等の都市計画の方針から今後の移動需要の変化を予測する